

ネットワーク ぎょうせい



第2号

2026年3月発行

発行責任者 (公社) 北海道栄養士会公衆衛生栄養士協議会会長 中川 真由美

秋期研修会報告

さる令和7年10月24日(金)～令和7年11月28日(金)の間にオンデマンド配信で開催されました、秋期職域別専門研修会の内容について、アンケート結果の一部抜粋とともにご紹介いたします。

講演Ⅰ「地域の食環境整備の推進における行政栄養士の役割～地域で連携する強みを生かす～」

講師 淑徳大学 看護栄養学部栄養学科 坂口 景子 氏

栄養政策としての食環境整備の重要性と、行政栄養士が地域連携の中核として果たすべき役割についてお話いただきました。栄養施策を推進するためには、WHOの減塩目標や認知症予防の観点を踏まえ、個人への啓発にとどまらず、食品や情報へのアクセスを整える環境整備こそが鍵であると示されました。国の「食環境戦略イニシアチブ」やESGの視点を踏まえ、産学官連携により健康的な食品を“主流化”することが、健康格差の縮小と持続可能な社会の実現につながると強調され、さらに、食環境整備については、市町村や都道府県それぞれの役割を整理し、身近なところから取り組める具体策の例示がありました。長期的な視点のもと、それぞれの立場でできることから着実に取り組む重要性について説明があり、講義の最後には、食環境整備は成果が出るまでに時間を要するが、種をまかなければ芽も花も咲かない、少しずつ進めていくことが重要とお話されたことが印象的に残りました。

講演Ⅱ「これからの誰一人取り残さない栄養施策の推進について」

講師 厚生労働省健康・生活衛生局 健康課栄養指導室 松野 誠 氏

日本では超少子高齢社会が急速に進行しており、地域の今後や将来を担う生産年齢人口や年少人口が一層減少していくことが予測されるが、地域が活力を保って持続可能な社会を実現していくためには、実態ごとにより適切な取り組みが求められている。その基盤となるのが栄養に関する取り組みであり、栄養は地域の人々が健康で生き生きと暮らすための土台であり、健康的で持続可能な環境づくりを進めていくことが、まさにその基盤を抑える重要な取り組みである。保健、医療、介護、障害福祉などの領域はもちろんそれ以外の分野も含め、関係者との連携が不可欠となってくる。そういった多様な領域をつなぐハブとしての役割が行政栄養士には期待されている。地域の持続可能性を支える栄養施策の推進・多分野連携による食環境整備の強化、あわせて、未来を担う行政栄養士の人材育成を進め、スキルとマインドを高めることが求められている。最後に、「今、何のためにこの仕事をしているのか、地域の未来に、どのような価値を残して行きたいのか？」自身の専門職としての存在意義を確認する機会になればと結ばれ、今後の北海道の行政栄養士の向かう方向性についても話されました。

市町村事例報告「七色献立プロジェクト」

講師 中札内村 福祉課保健グループ 長井 千鶴 氏

中札内村の「なないろ献立プロジェクト」は、平成28年から開始され、生活習慣病予防事業で、肉類・油脂類過多、野菜不足という課題を踏まえ、地場産野菜を7色に分類し、楽しみながらバランスの良い食事を促す取り組みを展開されています。講演会や飲食店連携(いろどりプラス)、食育サポーターによるレシピ普及、生産者協働事業など多面的に実施されています。KDBや北大との共同研究、ナトカリ比やベジチェック等、PDCAサイクルにより効果検証を着実にいき、野菜摂取増加や高血圧発症抑制の可能性、介護給付費抑制の見込みを示唆されていました。住民を重要な協働者と捉え、地域ぐるみで健康寿命延伸と医療費抑制を目指す持続的な地域づくりを推進されており、とても参考にさせていただきたい素晴らしい事例でした。

アンケート結果 16名

1、所属：公衆衛生1 2 医療1 福祉3

2、行政栄養士としての経験：①3年未満3 ②3-5年未満1 ③5-10年未満3 ④10年以上8 ⑤なし1

3、講演内容が今後の業務に活用できる内容でしたか

講演Ⅰ ①とても活用できる9 ②少し活用できる5 ③あまり活用できない2 ④全く活用できない0 未記入0

講演Ⅱ ①とても活用できる8 ②少し活用できる7 ③あまり活用できない1 ④全く活用できない0 未記入0

講演Ⅲ ①とても活用できる8 ②少し活用できる6 ③あまり活用できない2 ④全く活用できない0 未記入0

- ・地域での食環境づくりについて流れがよく理解できました。特に減塩対策に活動について例がありわかりやすいと思いました。
- ・東京栄養サミットや、自然に健康になれる検討会から組織体（イニシアチブ）が立ち上げられたことなど、今までそれぞれの情報を点で把握していたが、つながりが見えた。
- ・行政栄養士が連携の要になるという言葉が印象的でした。栄養政策そして行政管理栄養士の必要性について今後もあらゆる場面で伝え続けていきたいです。
- ・スキルアップや関係者との連携がとても大切だと思いました。
- ・自治体規模が大きく変わらないところで、食環境整備を主体的に行っていると自分も頑張らなくてはいけなと鼓舞されました。町内のスーパーの職員とのかかわりがあるため、関係機関に少しずつ自分の考えを伝えるところから始めてみたいと感じました。
- ・町の食育推進について悩んでいたのが、中札内村さんの評価方法や政策の進め方がとても参考になりました。住民や関係機関と協働で行う楽しさが伝わってきました。

*上記以外にも多数のご意見を頂きました。研修会についてのご要望やご意見につきましては、今後の事業推進の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

お知らせ

北海道栄養士会ホームページの「職域協議会からのお知らせ」に、今後、情報を掲載していきます。



北海道栄養士会ホームページ

ホーム > 会員のみなさまへ > 職域協議会からのお知らせ > 公衆衛生栄養士協議会

北海道 公衆衛生栄養士協議会

検索

春期公衆衛生栄養士協議会研修会のご案内

日時：令和8年6月12日（金）13：00～16：00（予定）（内容：検討中です。）

会場：北海道第二水産ビル（札幌市中央区北3条西7丁目1）

